



神奈川県立 相模原弥栄高等学校



<学校案内図>

利用交通機関

- JR横浜線淵野辺駅南口より
 - ・徒歩25分
 - ・バス「青葉循環～淵野辺駅南口」行き「弥栄小学校前」下車徒歩3分
 - ・バス「水郷田名／上溝団地／田名バスターミナル」行き「栄公園前」下車徒歩8分
- 小田急線相模大野駅北口より
 - ・バス「大野台経由JR相模原駅」行き「青葉児童館前」下車徒歩3分

所在地：相模原市中央区弥栄三丁目1番8号 〒252-0229
電話：042(758)4695
FAX：042(751)6137
URL：<http://www.pen-kanagawa.ed.jp/sagamiharayaei-h/>
創立：令和元(2019)年11月(令和2(2020)年4月開校)
課程：単位制による全日制
設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	3年	計
普通科	199	196	190	585
音楽科	39	39	38	116
美術科	39	39	39	117
スポーツ科学科	80	78	79	237
学級数	9	9	9	27

(生徒、学級数については令和7(2025)年4月1日現在)

本校付近略地図



(1) 学校の特徴

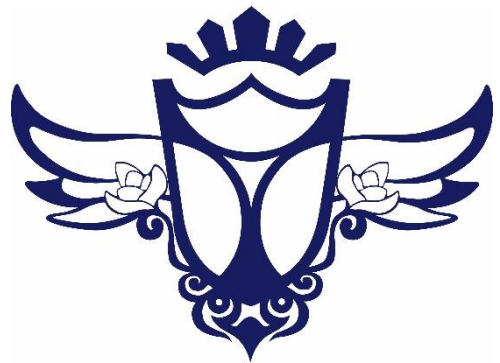
【概要】

本校は前身である弥栄高等学校の4つの専門学科(国際科、芸術科、スポーツ科学科、理数科)を、平成29(2017)年度から学科改編し、普通科と専門学科(音楽科・美術科・スポーツ科学科)を併置した単位制の個性教育を推進する高校となりました。そして令和2(2020)年度からは相模原青陵高等学校と統合し「相模原弥栄高等学校」としてスタートしました。普通科では、これまでの国際科と理数科レベルの教育を引き継ぎ、様々な学校行事を通して人間的成長を図りながら、国公立大学・難関私立大学への進学をめざした教育を行っています。

平成3(1991)年度から海外帰国生徒特別募集を始めました。現在9名が普通科に在学中ですが、日本での学校生活にも慣れ、クラスの中にとけこみ、勉強にも部活動にも積極的に取り組み、有意義な高校生活を送っています。

主な学校行事(体育祭・文化祭など)は、生徒が中心となり企画段階から取り組み、大いに盛り上がります。また、約90%の生徒が部活動に加入し、熱心に活動しています。

本校は部活動が大変盛んで、令和6(2024)年度には陸上競技部、吹奏楽部、美術部、サイエンス部が全国大会に、女子バスケットボール部、バドミントン部、剣道部、男子バレーボール部、ワンダーフォーゲル部が関東大会に出場しました。



普通科と3つの専門学科

SAGM Synergy

さがみ シナジー

授業や、各種発表会、部活動などを通じて学科間交流を積極的かつ効率的に行い、思考力・表現力・創造力を育成し、他者を尊重しあう態度を身に付けます。それぞれの学科間の専門性が発揮され、互いに刺激し合い、互いに高めていく相乗効果が生まれます。それがSAGM Synergy (さがみシナジー)です。令和9年度まで、本校は神奈川県指定STEAM教育研究推進校となりました。全学科で切磋琢磨し、さまざまな場面で研究を進めています。



×



×



×



体育・スポーツの活動及び学科行事を通して、生涯にわたり体育・スポーツ分野で活躍できる教育を提供します。野外、水辺、スキー、スケートなど多くの実習を行います。

美術大学進学をめざし、これまで取り組んできた教育活動を更に充実させ、将来美術工芸分野で活躍できる教育を提供します。専攻ごとに実習できる施設が設置されています。

生徒の学習や進路ニーズに対応した外国語や理数教育を重視した教育活動を行います。表現活動（国際）、学術探究（理科）など本校独自の選択科目を設置しています。

音楽大学進学をめざし、これまで取り組んできた教育活動を更に充実させ、将来音楽分野で活躍できる教育を提供します。専攻実技では専門講師による個別レッスンをを行います。

【施設】

体育館2棟、野球・サッカー・陸上競技が同時に活動できる広いグラウンドがあります。この他にテニスコート（全天候型7面・壁打ち1面）、芸術表現実習室兼視聴覚室、防音の個人レッスン室が26室、自習室、大トレーニングルーム、図書室、情報学習室2室、CG教室など充実した設備があり、学習に活用することができます。

相模原弥栄高校の周辺には、小・中学校、短期大学、国民生活センター、宇宙科学研究所、相模原球場、市立博物館、アイススケート場、プールなどの施設があり、緑豊かな恵まれた学習環境となっています。

(2) 教育課程

普通科と専門学科を併置した単位制の高等学校です。週当たりの授業時数は最大31時間（単位）になり、3年間で80単位以上の授業を履修します。

普通科では、共通教科・科目を広く履修するとともに、生徒の学習や進路ニーズに対応した外国語や理数の教育を重視した科目を多く取り入れています。

選択科目には、「フランス語」、「ドイツ語」、「スペイン語」、「中国語」、「イタリア語」、「ハンデル」といった第二外国語や、「学術探究」、「表現活動」、「総合舞台芸術」といった本校ならではの学校設定科目も設置されています。

(3) 海外帰国生徒の学習

海外帰国生徒特別募集は、普通科において実施しています。生徒が日本の高等学校教育に早くなじめるように、他の生徒と一緒に授業を受けます。学習が遅れていると考えられる教科・科目については、必要に応じて「個別対応授業」を行います。「個別対応授業」は日本語の習得と各教科の基礎学力の充実を目標とし、できるだけ他の生徒と同じ授業にスムーズに入っていけるようにすることを目標としています。

(4) 海外帰国生徒の卒業後の進路

4年制大学への進学を希望する生徒が多く、それぞれの目標に向かって頑張っています。

得意な語学や海外での経験を活かした入試を利用する生徒が多くみられます。

最近の卒業生の主な進路先としては、東海大学、帝京大学、杏林大学、神奈川大学、相模女子大学、桜美林大学などがあげられます。